



Reitaku Overseas Development Association

RODA ニューズレター

一般財団法人 麗澤海外開発協会 会報

平成27年
(2015年)
7月10日

第19号

第13巻 第1号
年2回発行

主な記事

巻頭 会長挨拶（廣池幹堂）

報告 タイ・スタディツアー報告/平成26年度事業報告

その他 ネパール大地震【緊急募金】のお願い

会費・竹原基金等の報告と振込先等のご案内

発行所：一般財団法人麗澤海外開発協会

〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

TEL. 04-7173-3165 FAX. 04-7173-8953

<http://www.reitaku.or.jp>

発行人・木下廣太郎／編集人・横山守男

若い世代を育成し、心の通い合う国際協力を進める

一般財団法人 麗澤海外開発協会

会長 廣池 幹堂



本年4月25日、ネパールにおいてマグニチュード7.8の大地震が発生しました。犠牲者はすでに8,400人を超え、広範囲にわたって建物が倒壊するなど、多大な被害をもたらしています（5月15日現在）。そこで現在、麗澤海外開発協会ではネパール大地震による被災者を支援するための緊急支援と募金活動を行い、広く皆様にご支援をお願いしています。

麗澤海外開発協会は、「開発途上国において文化・経済の発展に協力するため、国際協力活動を通じて、世界の平和、人類の安心と幸福の増進に寄与すること」を目的に、昭和46年（1971）に外務省所管の財団法人として設立されました。以来40年以上にわたり、微力ながらも開発途上国への貢献活動に取り組み、平成25年4月には新たに内閣府より「一般財団法人」として認可されました。今日までご支援を賜りました多くの皆様に、あらためて深く感謝申し上げます。

現在は、主にタイ、ラオスにおける教育支援、ネパールにおける医療支援、海外での自然災害に対する緊急支援等を推進しています。昨年12月には、東京の内幸町ホールにおいて「アジアの子供たちへの教育支援」を目的に第3回チャリティーコンサートを開催し、多くの方々にご支援をいただきました。

また、アジアの子供たちのための奨学金制度「竹原基金」も設置しています。当協会の副会長でラオス出身の竹原茂・麗澤大学名誉教授の名前を冠した基金で、この基金を生かして、貧困等の理由で学校へ通えないアジアの子供たちへの教育支援を進め、昨年度よりアジアからの留学生も招聘しています。昨年度はラオス国立大学の大学生ウドムスック・スリントーンさんが麗澤大学の別科日本語研修課程で学び、今年9月には新たにラオスから女子大学生1名を留学生として招聘します。

さらに、ボランティアの一環として、タイ、ラオス等におけるスタディツアーも実施しています。このツアーには学生・生徒・青年たちが参加し、訪問国の人たちとの交流や現地での生活体験を通して国際協力への理解を深めています。

このように、ささやかではありますが、「世界の平和、人類の安心と幸福の増進」に寄与するため、これまでの経験と実績を踏まえて若い世代の育成にも貢献し、「心の通い合う国際協力」をいっそう推進していきたいと念願する次第です。

第11回 タイ・スタディツアーを開催

平成27年2月10日～19日
 (チェンライ、チェンマイ、バンコク)



平成27年2月10日から19日まで、第11回タイ・スタディツアーを開催しました。タイ北部にあるメーコック財団(*1)や、ルンアルン(暁)プロジェクト(*2)に滞在し、子供たちとの交流やボランティア活動を通してさまざまな体験と学びを得たツアーになりました。

麗澤大学の学生を中心とする8名のツアー参加者は、麗澤海外開発協会が長年にわたって支援し、関係を築いてきた支援団体を訪問することにより、国際協力のあり方についての考え方を深め、現地の問題を肌で感じ、自分に何ができるかを考えたことで、大きな収穫があったようです。一日一日と成長していく参加者にスタディツアーの意義を感じました。



新しい遊具に大喜びの子供たち

メーコック財団(*1)

貧困等の理由により学校に通えない子供たちに寄宿舎を提供し、通学支援や職業訓練を行っている。

2014年度は男子10名、女子12名、2歳から15歳までの子供たちが共同生活を行い、通園・通学している。一番幼い2歳の子供は、その父親が麻薬中毒、祖母は精神不安定で、家もなく村の中で食べ物を求めて歩き、道端で寝転んでいたという。子供たちは皆、家庭の貧困や、親が麻薬により受刑中などの理由で、メーコック財団の支援を受けている。



コーヒー豆を選別するスタッフ

ルンアルン(暁)プロジェクト(*2)

山岳少数民族の中高生を対象に、安定した生活と職業訓練の機会を提供するため、生徒寮と奨学金制度を運営し教育支援を行っている。

2014年度は中高生の7名、新たにスタッフとしてプロジェクトで働きながら学校外教育(スクーリング)を受ける2名のほか、奨学生35名が支援を受けている。また標高1,100メートルの山でコーヒーの栽培、コーヒー豆の買入れ、焙煎販売を行い、山岳地域の人々の持続的な生活向上を目指して活動している。

タイ・スタディツアーの魅力

その1 ボランティア活動

今回のツアーでは、メーコック財団に滞在中、土囊^{どのおう}づくりの活動を行いました。財団前を流れるメーコック川が雨季になると増水し、川岸を浸食してしまっていて困っているという話を聞き、2日間にわたって土囊作りを行いました。暑い中、参加者は疲れながらもキラキラした汗と笑顔を見せてくれました。財団の小さな子供たちもお手伝いをする姿に「この子供たちのために自分ができることは何だろう」「また訪問者がいなくなったら、子供たちだけで作業するのだろうか」といった子供たちを思う声が聞かれました。



その2 子供たちとの交流



「タイ語が話せないから、どうやってコミュニケーションをとればいいのかわからなかったけれど、子供たちと一緒に遊ぶうちに、たくさんの笑顔を見せてくれ、会ったばかりとは思えなかった」

たとえば一緒にサッカーをする、折り紙を教える、一緒にお皿を洗う、といった些細なことでも、子供たちとの距離をぐっと縮め、積極的に交流していた参加者たち。自ら勇気を出して行動したことで、忘れられない出会いがありました。

その3 山岳民族の村を訪問・滞在

今回のツアーでは、ラフ族、カレン族、アカ族と3つの少数民族の村を訪問しました。ラフ族の村では村の生活を拝見。竹や藁ぶき屋根で出来た家にお邪魔したり、伝統楽器による演奏を聞かせていただいたりしました。カレン族の村では恒例の象乗り体験！村から川の中までゆったりと象の背中に揺られました。アカ族の村は標高1,000メートルの山の中。ゲストハウスに滞在し、村を散策したり、囲炉裏^{いろり}を囲んで語り合ったりと、普段の旅では体験できない数々の異文化体験がありました。



その4 大学生との交流

かねてから交流のあるチェンライ・ラチャパット大学日本語学科を訪問、日本語を学ぶタイの大学生と交流の輪を広げました。グループに分かれたフリートークタイムでは、日本についての質問が多く、答えに困る場面も……。その後はタイの学生からのタイ舞踊が披露され、ツアー参加者からは盆踊りを披露しました。



その5 小学校での手洗いプロジェクト



メーコック財団からほど近い山の中の小学校を訪問しました。この日のために参加者の学生が中心となって手洗いプロジェクトを企画してきました。手作りの紙芝居で、手洗いの大切さを身近なストーリーで伝えると、子供たちは真剣に聞き入っていました。タイ語の歌詞も練習し、子供たちと一緒に手洗いソングを歌いました。

その6 コーヒー農園訪問

ルンアルン（暁）プロジェクトが運営するコーヒープロジェクト。標高 1,100 メートルにある農園は麓から車で 2 時間、途中からは舗装されていない坂道をピックアップ（小型貨物自動車）の荷台に揺られて着いた景色は絶景！しかし途中にはほとんどころ焼畑のために木がなく、赤い土が見えている山も多く見られました。焼畑に代わる農業として、コーヒーによる山岳地域の人々の持続的な生活向上のために、無農薬栽培をし、一つ一つ手作業で販売までを行っています。現地の抱える環境問題に対し、実際に向き合い、行動している人々から大きな刺激をいただきました。



参加した学生たちの声

麗澤大学 外国語学部 国際交流・国際協力専攻1年 稲田あや

（右下の写真・左から2人目）

1つの問題をいろいろな角度から見ることの重要性も知りました。1つの問題に1つの支援ではなく、多角的に問題を捉え、どこにどんな支援が必要なのかをきちんと見分けなければなりません。そして、こちらからの一方的な援助をするのではなく、相手が今必要としていることをきちんと把握し、自分たちができる範囲でそれを提供していくこと、また一時的なものではなく、問題が解決する最後まできちんと見届けることもしていかなければいけないと感じました。これを感じて、私は寄付だけでなく、私たちももっとその問題を解決するための支援を探し、参加していかなければならないと思いました。（中略）今回、短い時間でしたが、現地の方、現地の子供たちと触れ合うことで、私の中で強いつながりができたと思います。このつながり、思いを、これからの自分を成長させるきっかけにして、もう一度タイに行った時に、今度は自分から問題を発見し解決して、少しでも子供たちの力になることができるようになりたいと思います。そしてこれからの大学生活を通して、もっと多くの経験を積み、自分にできることをどんどん増やしていきたいと思います。このスタディツアーは、自分の課題や目標を発見し、自分の成長につながる素晴らしい経験でした。この経験から学んだことを、これからの大学生活でどんどん活かしていこうと思います。（感想文より一部抜粋）



学生に講話する竹原副会長(左)

* * *

麗澤大学 外国語学部 国際交流・国際協力専攻1年 小金井菜都（写真左）

ボランティアがたくさん組み込まれているこのスタディツアーで、私は誰かのために自分のことをしたいと、出発前は考えていました。しかし今回、私が誰かのためになったという達成感を感じることができたのは、メーコック財団での土嚢作りと焼きそば・みそ汁・サラパオを作ったことだけです。子供たちとの交流に関しては、たくさん一緒に遊ぶことができました。子供たちの笑顔を見ることができて、とても幸せな気持ちにもなりました。ですが、散らかしたら自分で片付けるということやおもちゃやおやつを独り占めしないなど、遊ぶこと以上に大切な事を教えてあげることができなかったのです。また、ラチャパット大学での交流の時も、日本人の私が奈良時代について何も知らないまま質問に答えることができなかつたりと、振り返れば反省点はたくさんあります。そんな反省点の中に何か見いだすことができないかと考えた時に、私は一つ思い浮かんだことがあります。それは「今回出会った人々と今後もつながっていくこと」です。たくさんの反省点があるにも関わらず、タイが素敵な場所だと心から思えたのはタイで出会った多くの方々、そしてそこで経験したことのおかげです。そんな大好きになったタイとこれからも継続して関わっていくことが、これから私がすべきことなのではないかと思っています。



そしてタイとの継続的な関わりと同時に、私は農業と環境という二つのキーワードから国際協力を積極的に学んでいこうと思いました。メーコック財団で、いたるところに食べられる果実の木がたくさん植えられていたり魚を養殖しているところを見たこと、チェンマイのドインガム村で見学させていただいたコーヒー農園をはじめとする多くの作物が栽培されている様子や焼き畑農園を生で見たことが、その思いのきっかけです。何日目かのミーティングでのコメントの際に述べたかもしれませんが、子供・教育という問題より、この農業・環境というほうが私には向いていて、自分の好きな分野がはっきりしたのもタイ・スタディツアーで得られたことです。

（感想文より一部抜粋）

ネパール大地震【緊急募金】のお願い

一般財団法人 麗澤海外開発協会

4月25日、ネパールでマグニチュード7.8の大地震が発生。その後も大きな余震等に襲われ、犠牲者はすでに8,400人を超え、広範囲にわたって建物が倒壊するなど、多大な被害をもたらしています（5月15日現在）。被災者は数十万人に上り多くの人たちが住む場所を失い、清潔な飲み水や必要最低限の生活物資も入手できない状況に直面していて、広く積極的な支援を必要としています。

一般財団法人麗澤海外開発協会では、長年ネパールにおいて東洋療法（鍼灸・指圧）による住民の健康回復に寄与するため、無医村の村々で巡回治療を実施するプロジェクトに対して支援してまいりました。

そこで、ネパール大地震の被害者に対する支援を進めるために、皆様にネパール大地震による被災地への【緊急募金】をお願いしております。大地震に見舞われたネパールの方々に、皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

ネパール大地震【緊急募金】

<下記の口座にお振込みください。>

郵便振替 口座番号 00120-6-499164
名 義 一般財団法人 麗澤海外開発協会

募金期間 平成27年5月1日～9月30日



— 平成26年度 事業報告 —

1. 支援事業への助成について

- (1) タイ北部チェンライ県で、生活が困窮している少数民族の児童に対して生活・教育支援施設の運営事業を実施している、メーコック財団に対して支援と助成を行った。
- (2) 東南アジアからの留学生への教育支援を行った。
 - ① 麗澤大学別科日本語研修課程へラオス人留学生ウドムスック・スリントーン氏の受け入れ（1年間）を行い、学習成果を上げた。
 - ② 麗澤大学で受け入れているブータンからの留学生に対し、麗澤大学国際交流センターと連携をとりながら支援を行った。
- (3) ラオス国立大学文学部日本語学科図書館へ書架を寄贈した。
- (4) ネパールにおいて東洋療法（鍼灸・指圧）による住民の健康回復に寄与するため、ネパール赤十字が「よもぎの会」の技術支援を受けて実施した無料巡回治療（ヘルスキャンプ）に支援と助成を行い、治療に使用する「もぐさ」製造にも支援と助成を行った。
- (5) ネパール・カレカ高等学校へ備品等の助成を行った。

2. スタディツアーの実施について

- (1) 東南アジア諸国で活動する支援団体等の現状を視察し、ボランティア研修を通じて海外NGO活動に対する理解を深めるためにスタディツアーを実施した。
 - ① タイ・スタディツアー
 - ・訪問先 タイ（メーコック財団、ルンアルン（暁）プロジェクト）
 - ・日 程 平成27年2月10日～2月19日（10日間）
 - ・参加者 10名（引率：桑島事務局員、益田事務局員）

3. 研究・調査について

- (1) タイのメーコック財団等を訪問し、現状視察を行い、今後の方針についての打合わせを行った。
 - ・訪問先 タイ（メーコック財団、チェンマイ）
 - ・日 程 平成27年2月10日～2月16日
 - ・訪問者 竹原副会長、木下常務理事

4. 第3回チャリティーコンサート開催について

- ・日 時 平成26年12月7日（日） 13:30開演（13:00開場）～16:00
- ・会 場 内幸町ホール（東京都千代田区内幸町1-5-1）
- ・来場者 約190名（参加者と出演者）

5. 広報活動について

- (1) ニューズレター第18号（2014年7月）を発行した。
- (2) ホームページを改定した。

6. 出展活動について

当協会の活動に理解や支援者を募るため、会員の募集や写真展示等を行った。

- (1) 「伝統の日・感謝の集い」
- (2) 「モラロジー生涯学習フェスタ2014」

7. 賛助会員等の募集状況について

- (1) 賛助会員、寄付金、竹原基金の募集を行った。
 - ① 賛助会員 114件
（個人107件、団体7件）
 - ② 準会員 45件
 - ③ 寄付金 136件
 - ④ 竹原基金 65件

平成26年度 正味財産増減計算書

(単位 円)

経常収益の部		経常収益の部	
① 基本財産運用益	111,559	I 事業費	
② 賛助会員受取会費	1,780,000	① 海外旅費	472,816
③ 準会員受取会費	94,000	② 広報活動費	285,120
④ 受取寄付金	2,256,505	③ 図書資料費	8,880
⑤ 受取竹原基金寄付金	752,484	④ 雑費	183,903
⑥ 受取利息	1,410,545	⑤ 緊急援助費	0
⑦ 雑収益	881,000	⑥ 支払助成金	3,940,782
経常収益合計	7,286,093	⑦ コンサート開催費	565,072
		事業費合計	5,456,573
		II 管理費	2,106,399
		経常費用合計	7,562,972
		当期正味財産増減額	△ 276,879

たくさんのご支援、ありがとうございます

<平成26年度> 掲載に同意された方をご紹介します(順不同)

■会費

廣池幹堂, 甲良昭彦, 木下廣太郎, 竹原茂, 関哲夫, 横山守男, 山口明, 大橋政夫, 野田ミート(株), 内田八代, 長谷和治, 土谷和光, 荒木郁雄, 栗山清和, 高松宇佐雄, 杉浦廣道, 山本祥子, 柏谷康博, 橋本半兵衛, 大谷誠之, 宮脇常夫, 望月靖子, 横山印刷(株), (合)川貞商店, 石渡英雄, 今井収, 所一彌, 柴田英輔, 大村金三, 長谷篤治, 山田雅雄, 山本浩, 小野剛, 松本哲洋, 雲丹亀宏明, 古川定邑, 望月敏雄, 望月淑子, 俣野幸昭, 桑島義智, 小山松男, (株)小松製菓, 小嶋義佑, 小峰進, 下田健人, 大上正, 淡島成高, 前田三作, 和田悦治, 長谷川和子, 井上源一, 太田徳昭, 増田一江, 小林雅純, 大内栄三, 中川千恵子, 永治達彦, 三木実, 藤村薫, 島田京子, 濱井利一, 上田通泰, 福井博康, 桑島朋子, 白木貞一郎, 平塚靖永, (術)弘明堂, 上田敏子, 松岡孝稔, 木津孝道, 黒川洋, 横山明弘, 山口秀正, 河村満, 長谷真千子, 熊木亜夫, 松本彰夫, 澤田栄作, 村瀬泰比古, 澤政利, 菅間正則, 山本栄道, 岩田英志, 黒白常光, 菅澤運一, 竹原俊広, 藤尾侑男, 田中一宏, 板垣廣光, 田中聖則, 沖野二郎, 北川治男, 八代京子, 長谷享治, 永治真樹, 森田武志, 東海林新彦, 小金井暁子, 益田晴華, 世田谷北沢モラロジー事務所, (株)スーパーバリュー九州本部

■準会費

野田好秋, 小西幹夫, 須見好和, 小川彰平, 木崎重安, 大山圭子, 小林良平, 長谷英治, 長谷美世子, 長谷憲治, 高野聖, 佐藤惇, 西川陽一, 橋本賢三, 乙部完司, 杉山雄彦, 行本まり子, 小金井菜都, 松岡平記, 三浦順治, 山田武司, 林善介, 上野明, 安田誠一, 野川裕史, 原孝司, 岩永和美, 前田憲一, 山崎利彦, 楠田正義, 浜井則継, 鈴木孝明, 濱井悠史, 三浦有三, 春木章一, 山田耕三, 鈴木靖久, 阿部美佑, 稲田あや, 伊藤志穂, 内尾太一, 田代惇, 関彩絵, 小峰進

■一般寄付金

廣池幹堂, 長谷和治, 渡辺康博, 長谷篤治, 横山守男, 栗山清和, 中村修一, 山本祥子, 宮脇常夫, 望月靖子, 山口明, 俣野幸昭, (株)ダイキョープラザ, 山田雅雄, 發坂卓雄, 大垣モラロジー事務所, 野田好秋, 桑島義智, 所一彌, 関俊章, 山崎純雄, 前田三作, 和田悦治, 長谷川和子, 東海林新彦, 上田通泰, 大住敬一, 福井博康, 桑島朋子, 白木貞一郎, 井上照悟, 俣野貴昭, 俣野智美, 都竹高一, 大山圭子, 杉山直, 山本栄道, 橋本賢三, 橋本光世, 井出一男, 松岡平記, 青木久子, 飯島孝夫, 北敬子, 石黒美恵子, ウィクラマラタナ文子, 柿本勇人, 笠田環嗣, 加島亮伸, 勝矢啓司, 橋高重久, 木野千代子, 木村多加志, 佐久間三郎, 光安輝雄, 佐藤徳高, 篠原正隆, 鋤柄勘治, 油谷信俊, 玉井哲, 岸上肇, 内藤元彦, 中澤裕隆, 西尾さゆり, 西村秀喜, 増田つかさ, 神田出, 松島利允, 丸岡三義, 三笠忠克, 三上ハツミ, 増田顕次郎, 森与喜男, 早乙女静子, ファッションハウスたかさご, (株)夢相続, うどん市あけぼの店, 相生モラロジー事務所, 大阪和泉モラロジー事務所, 岡山モラロジー事務所, 柏モラロジー事務所, 京都東山区モラロジー事務所, 新潟モラロジー事務所, 東北ブロック親善ゴルフコンペ, 四日市西部モラロジー事務所, 横浜事務所ゴルフサークル一同, 尾西モラロジー事務所女性クラブ, 静岡県モラロジー協議会女性クラブ
廣池学園まんなりの会

■竹原基金

廣池幹堂, 山口明, 長谷和治, 竹原茂, 土谷和光, 大河原良雄, 荒木郁雄, 横山守男, 東海林新彦, 栗山清和, 山田莊一, 山本浩, 山本祥子, 柏谷康博, 橋本半兵衛, 宮脇常夫, 長谷篤治, 山田雅雄, 發坂卓雄, 澤田栄作, 野田好秋, 白木貞一郎, 高松宇佐雄, 桑島義智, 小嶋義佑, 前田三作, 和田悦治, 上田通泰, 福井博康, 桑島朋子, 山本栄道, 大山圭子, 竹原俊広, 松岡平記, 八代京子, ウィクラマラタナ文子, 加島亮伸, 加藤栄一郎, 加藤信次, 桑島祥子, 小林一正, 篠原正隆, 鋤柄勘治, 松井さだ子, 支援キルトの会ふーぶ, Bridge over Next IT Business

《会員・準会員募集中》

麗澤海外開発協会は皆様からお寄せいただいた会費や寄付金によって活動しています。

会員および準会員を募集していますので、是非ご入会いただきますようご案内いたします。

種類	年額
会費	1口1万円(1口以上)
法人会員	1口1万円(1口以上)
準会員	1口2千円(1口以上)
寄付金	任意の寄付金を募ります
竹原基金	任意の寄付金を募ります

郵便振替：口座番号 00120-6-499164
名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会
※通信欄にご寄付の種類をご記入ください。

銀行口座：三菱東京UFJ銀行松戸西口支店 普通 4057567
名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

一般財団法人
麗澤海外開発協会 事務局

〒277-0065
千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

TEL: 04-7173-3165
FAX: 04-7173-8953

E-Mail: kaikyo@ga.reitaku-u.ac.jp
HP: http://www.reitaku.or.jp/



会費、寄付金をお寄せいただいた方のお名前は、会報に掲載させていただきます。掲載不要の方は振込用紙の通信欄にその旨をご記入いただくか、事務局までお知らせください。ご連絡のない場合は、掲載に同意いただいたものといたしますので、ご了承ください。